

ケーブル技術スタッフの機器チェック!

日々開発されるケーブルテレビ関連機器などを、実際に検証しながらチェック! 実用性に焦点をあてて報告します。

No. 176

ケーブルテレビの技術書

ケーブルテレビ アーキテクト 上山裕史

今号は技術書『ニューメディア技術シリーズCATV』を紹介します。

ケーブルテレビ局の技術者は、プライマリIP電話やインターネットなどミッションクリティカルな双方向アプリケーションに加え、コミュニティチャンネル(コミチャン)放送のためのデジタル放送機器の安定動作に目を光らせています。

今回は本誌8月号に続く第2弾として、ケーブルテレビ関係の技術書の中から特色のある書籍を紹介します。ケーブル技術を百科事典のように網羅的に知りたいと考える技術者の要望に応える内容です。

紹介する書籍は以下です。

題名:『ニューメディア技術シリーズCATV』

著者:電気通信学会編 宮川洋監修
発行所:オーム社
発行年:1986年第1版第1刷

表紙は図1です。目次を図2、3、4に示します。内容は電気通信学会がメーカ、オペレータ、大学研究者など複数の著者に分野を定めて執筆分担してまとめたものです。

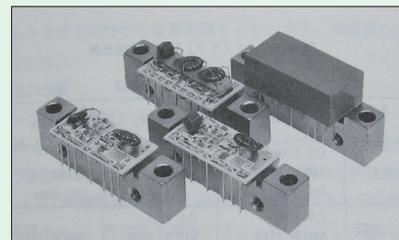


図5:ハイブリッドIC

学会が世間でいわれている“ニューメディアとは?”に答えることを目的としているようです。多くの技術項目に網羅的に答える形になっています。

回路・ブロック図は少なめですがセキュリティや将来システム、法規制、海外事情にも言及されていて当時の考え方を知るのに役立つ内容となっています。増幅器の項で当時標準的に使用されたモトローラ社ハイブリッドIC (HIC)が紹介されています。

HICのプラスチックモールドを外した状態で、トランジスタや部品が基板上に乗った写真が掲載されています。当時から現在まで続く技術の歴史を感じます。

本書は廃刊になっているようですが、図書館で一読されることをお勧めします。

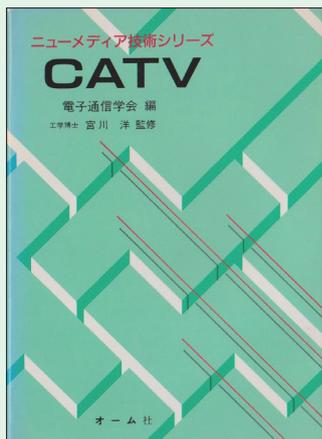


図1:書籍「ニューメディア技術シリーズCATV」の表紙

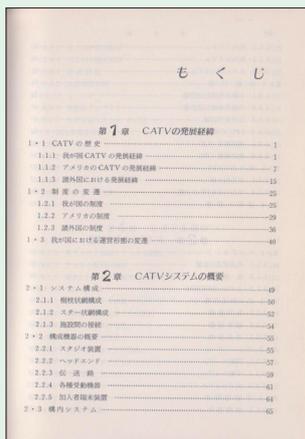


図2:目次

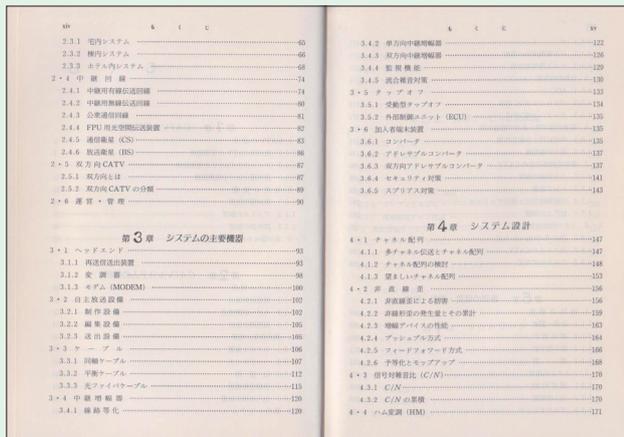


図3:目次

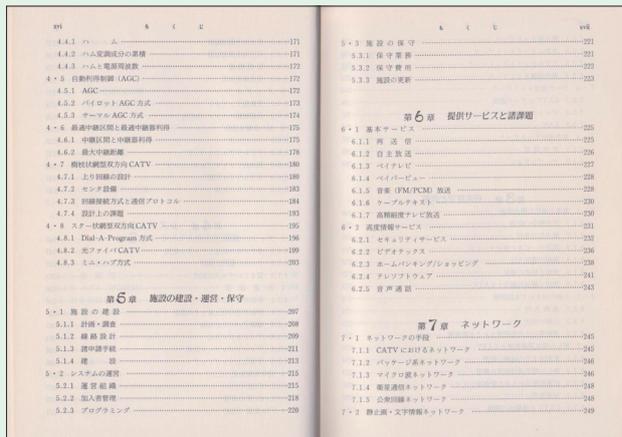


図4:目次